

## 講義シラバス

科目名	運営管理	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	島 一浩				
講師 プロフィール	<p>【職歴】 1984年～2021年：地方公務員(市役所職員) 2021年～：研修講師、経営コンサルタントなど</p> <p>【資格・学位】 国家資格キャリアコンサルタント、CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)、NLPプラクティショナーなど MBA(経営管理修士)</p>								
【授業を通じての到達目標】									
美容師と必要なサロン運営、サロン経営、保険について理解する。 国家試験に出題傾向の高い重要ポイントを理解する。 国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身につける。									
【学習内容】									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験で出題される「運営管理」の問題に正しく解答するために必要な知識と考え方のポイントを習得する</li> <li>・「経営者」「従業員」「顧客」の視点から美容業についての理解を深め、美容師として活躍し、顧客を満足させるサービスの担い手となるための知識とマインドを身に付ける</li> <li>・社会人として活躍するために必要な基礎知識やマナーを習得し、仕事や社会活動への適応力を身に付ける</li> </ul>									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
運営管理の教科書、筆記用具、ノート、授業で配布したプリント					宿題・課題は課さないが、予習・復習を行うこと ・予習～各授業での履修範囲について、教科書の本文を一読しておく ・復習～各授業の補足プリントの見直しを行う(プリントはレターファイルなどで整理)				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「運営管理」の授業について、「授業を通じての到達目標」、「学習内容」、「履修に当たっての心構え・留意点」などについて理解する</li> <li>・授業の構成や全体の計画について理解する</li> <li>・授業への積極的な参加を促し、知識の効果的な習得を実現するために必要なコミュニケーション力を身に付ける(グループワークによるコミュニケーションのトレーニング)</li> </ul>				⑨ (6/17)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会保険(公的年金)」に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 p.64～p.67</li> <li>第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から</li> <li>第2節 社会保険① 公的年金</li> </ul>			
② (4/22)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの「経営」に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 p.8～p.17</li> <li>第1編 経営者の視点 — 第1章 経営とは・経営者とは</li> <li>第1節 経営とは何か ～ 第5節 経営戦略②</li> </ul>				⑩ (6/24)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会保険(医療保険)」に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 p.68～p.73</li> <li>第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から</li> <li>第3節 社会保険② 医療保険</li> </ul>			
③ (4/29)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業の経営」に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 p.18～p.33</li> <li>第1編 経営者の視点 — 第2章 理容業・美容業の経営について</li> <li>第1節 業界の概要 ～ 第5節 理容業・美容業の顧客</li> </ul>				⑪ (7/1)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会保険(労働保険)及び美容師としてのキャリアプラン・役割」に関する基礎的知識を習得する【教科書の範囲】 p.74～p.83</li> <li>第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から</li> <li>第4節 社会保険③ 労働保険 ～ 第6節 仕事をするうえで考えるべきこと</li> </ul>			
④ (5/13)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業の経営における資金の管理に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 p.34～p.41</li> <li>第1編 経営者の視点 — 第3章 資金の管理</li> <li>第1節 資金管理の重要性 ～ 第4節 コストを管理する</li> </ul>				⑫ (7/8)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業におけるサービス・デザインとマーケティング」に関する基礎的知識を習得する【教科書の範囲】 p.100～p.137</li> <li>第3編 顧客のために</li> <li>第1章 サービス・デザイン、第2章 サービス・マーケティング</li> </ul>			
⑤ (5/20)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業の経営における資金の管理(税金)」に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 p.42～p.45</li> <li>第1編 経営者の視点 — 第3章 資金の管理</li> <li>第5節 税金について ～ 第6節 税金の申告</li> </ul>				⑬ (7/15)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業のサービスにおける人の役割」に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 p.138～p.157</li> <li>第3編 顧客のために — 第3章 サービスにおける人の役割</li> <li>第1節 接客についての理解</li> <li>～ 第9節 問題を深刻化させないための対策・対処</li> </ul>			
⑥ (5/27)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業について、人(従業員)のマネジメント」に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 p.48～p.55</li> <li>第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第1章 人という資源</li> <li>第1節 人という資源とは ～ 第4節 給与</li> </ul>				⑭ (8/19)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業の運営管理」の全般について復習し、要点の確認・知識の定着を図る 【教科書の範囲】 p.8～p.157</li> <li>第1編 経営者の視点 ～ 第3編 顧客のために</li> <li>※定期試験のための準備</li> </ul>			
⑦ (6/3)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業について、人(従業員)の権利など」に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 p.56～p.61</li> <li>第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第1章 人という資源</li> <li>第5節 待遇・福利厚生 ～ 第6節 労働者の権利</li> </ul>				⑮ (8/26)	<p>【定期試験】60</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業の運営管理」の全般について、試験による習得度の測定を行う 【出題範囲】 教科書 p.8～p.157</li> <li>第1編 経営者の視点 ～ 第3編 顧客のために</li> </ul>			
⑧ (6/10)	<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美容業について、従業員の健康・安全・責任」に関する基礎的知識を習得する 【教科書の範囲】 第2編 人という資源 従業員としての視点</li> <li>第2章 従業員としての視点から</li> <li>第1節 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任 p.62～p.63</li> <li>第3章 健康・安全な職場環境の実現</li> <li>第1節 健康管理の基礎 ～ 第4節 理容・美容の作業環境に関する健康問題 p.84～p.97</li> </ul>				<p>【成績評価の方法と基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト40点/定期試験60点</li> <li>●評価</li> <li>A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)</li> <li>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法</li> <li>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
<p>&lt;授業への出席&gt; 欠席、遅刻、早退がないように心掛けること</p> <p>&lt;授業への参加態度&gt; 講師と学生、学生同士の良好なコミュニケーションと協調性に留意すること</p> <p>&lt;必要な持ち物&gt; 教科書、筆記用具(鉛筆(シャープペンシル)・蛍光ペン)、ノート、レターファイルなど</p>									

## 講義シラバス

科目名	衛生管理 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	沖田史代				
講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌エルエポック美容専門学校にて講師として衛生管理を担当しています。								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
美容師は髪や頭皮など人の身体に直接触れる仕事なので、使用する器具や施術における衛生管理の重要性と知識が習得できる。 国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身につける。									
<b>【学習内容】</b>									
美容師に必要な衛生管理の知識として、「公衆衛生」「環境衛生」「感染症」を教科書を中心として解説し、練習問題を行う。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
衛生管理の教科書、筆記用具、ノート、授業で配布したプリント									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】 シラバスを通して衛生管理の学習内容が理解できる。公衆衛生とは何か。どのように発展してきたのか歴史を学び、わが国の公衆衛生の歩みについての知識が習得できる。				⑨ (6/19)	【到達目標】 住居の衛生について知識が習得できる。			
② (4/24)	【到達目標】 歴史の中の美容師と公衆衛生について知ることができる。公衆衛生の第一機関としての役割を担っている保健所のはたらきと美容師との関わりについて知識が習得できる。				⑩ (6/26)	【到達目標】 上・下水道と廃棄物に関する知識が習得できる。			
③ (5/1)	【到達目標】 母子保健について理解し、知識が習得できる。				⑪ (7/3)	【到達目標】 衛生害虫とネズミに関する知識が習得できる。環境保全の水質汚濁について理解できる。			
④ (5/15)	【到達目標】 成人・高齢者保健について理解し、知識が習得できる。				⑫ (7/10)	【到達目標】 人と感染症の歴史について知識が習得できる。感染症と法律、感染症の分類について			
⑤ (5/22)	【到達目標】 精神保健について理解し、知識が習得できる。				⑬ (7/17)	【到達目標】 病原微生物(種類・形・大きさ)について知識が習得できる。			
⑥ (5/29)	【到達目標】 環境衛生とは何か。目的や意義、環境衛生活動について学習できる。(課題)				⑭ (8/21)	【到達目標】 病原微生物(構造・増殖と環境の影響)について知識が習得できる。			
⑦ (6/5)	【到達目標】 空気環境・温熱環境と人の健康の関わりについて知識が習得できる。				⑮ (8/28)	【定期試験】60 公衆衛生・環境衛生・感染症(～病原微生物)の範囲で試験			
⑧ (6/12)	【到達目標】 衣服の衛生について知識が習得できる。				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト40点/定期試験60点</li> <li>●評価               <ul style="list-style-type: none"> <li>A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)</li> <li>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> </ul> </li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									

## 講義シラバス

科目名	保健 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名	岡田 弥生			
講師 プロフィール	2児の母、看護師歴は長く今も訪問看護師をしています。手術看護師歴が長いため体の構造については詳しいです								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
美容業に従事する者にとって密接な関係にある保健について内容を十分に理解し、知識を得る。 国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身につける。									
<b>【学習内容】</b>									
美容師に必要な人の体の構造と機能、皮膚科学を理解し、授業をととして知識を習得していくことができる。 教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
保健の教科書、筆記用具、ノート、授業で配布したプリント					宿題を出し、期日内に退出できるかを確認します				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】 自己紹介を通してを互いを理解していく。 なぜ保健の学習が必要か理解する				⑨ (6/19)	【到達目標】 循環器系のなりたち、仕組みを理解する			
② (4/24)	【到達目標】 頭部、顔部、頸部の体表解剖学について理解する。 (学習後確認テストの施行)				⑩ (6/26)	【到達目標】 血液循環についての知識の確認し理解を深める(確認テスト)			
③ (5/1)	【到達目標】 骨格器系について理解する(学習後確認テストの施行)				⑪ (7/3)	【到達目標】 呼吸器系の成り立ちについて理解する(学習後確認テストの施行)			
④ (5/15)	【到達目標】 筋系について理解する(学習後確認テストの施行)				⑫ (7/10)	【到達目標】 消化器系のあらましについて知識を深め理解する			
⑤ (5/22)	【到達目標】 神経系について理解する(学習後確認テストの施行)				⑬ (7/17)	【到達目標】 消化器官の働きについて理解し知識を深める。			
⑥ (5/29)	【到達目標】 神経系について理解する(学習後確認テストの施行)				⑭ (8/21)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認し定期テスト			
⑦ (6/5)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認。				⑮ (8/28)	【定期試験】50 人体の構造及び機能から出題。			
⑧ (6/12)	【到達目標】 血液免疫系知識を深め理解する				<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									

## 講義シラバス

科目名	美容技術理論 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名	飯嶋美智江			
講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就く。国家試験科目を含む実技指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
美容師として必要な用具、技術の理論について知識を身につける。 国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身につける。									
<b>【学習内容】</b>									
美容技術に関わる専門用語・道具・名称・技術手順など教科書を中心にサロンワークと関連づけて解説する。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
美容技術理論の教科書①、筆記用具、ノート、授業で配布したプリント					教科書の写真や図の理解を深める。				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15)	【到達目標】 <教科書①> 美容技術者としての心構え・作業姿勢・人体各部の名称を学び理解する。				⑨ (6/17)	【到達目標】 <教科書①> (2)パーマントウェーブの技術手順を学び理解する。			
② (4/22)	【到達目標】 <教科書①> 美容用具の名称・道具の選定法と手入れ法・器具の使用目的を学び理解する。(コームの持ち方いろいろ体験) ※リングコームとカットコーム持参				⑩ (6/24)	【到達目標】 <教科書①> (1)ヘアカラーリング剤の種類と特徴・染毛のメカニズム・色の基本を学び理解する。			
③ (4/29)	【到達目標】 <教科書①> (1)シャンプーの目的・技術の使い分け・シャンプー剤の種類と成分などを学び理解する。				⑪ (7/1)	【到達目標】 <教科書①> (2)酸化染毛剤の技術手順と酸性染毛料の違いを学び理解する。 ※パッチテストの目的と手順			
④ (5/13)	【到達目標】 <教科書①> (2)リンス・コンディショナー・トリートメントの違いや成分、スカルプトリートメントとスカルプマッサージを学び理解する。				⑫ (7/8)	【到達目標】 <教科書①> (1)ヘアセッティング/オールウェーブ技術に必要な基礎知識を学び理解する。			
⑤ (5/20)	【到達目標】 <教科書①> ヘアデザイン(創造力を養う)をお客様に提案できる基礎知識からのプロセスを学び理解する。				⑬ (7/15)	【到達目標】 <教科書①> (2)ヘアセッティング/ピンカールの種類・ブロードドライ・バックコーミングの基礎知識を学び理解する。			
⑥ (5/27)	【到達目標】 <教科書①> (1)ヘアカッティングの目的・基礎理論を学び理解する。				⑭ (8/19)	【到達目標】 <教科書①・定期試験対策> 美容技術理論①の教科書から重要ポイントの強化・復習を集中的に行う。			
⑦ (6/3)	【到達目標】 <教科書①> (2)ベーシックな4つのヘアスタイルの特徴とカット技法を学び理解する。				⑮ (8/26)	【定期試験】60点配分 <教科書①・定期試験> 4択問題を中心に行い、読解力を高めることを目的とする。			
⑧ (6/10)	【到達目標】 <教科書①> (1)毛髪の構造とパーマントウェーブが形成される仕組み・パーマ剤の種類と特徴を学び理解する。				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
問題意識をもった授業参加を心がけよう!!									

## 講義シラバス

科目名	文化論	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	大澤 慶太				
講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
美容・ファッションの歴史を学び、感性を養い、業界の知識を得る。 国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身につける。									
<b>【学習内容】</b>									
文化論の内容を理解し、美容業の歴史、日本のファッション文化史について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。 それぞれが文化論を研究し、ヘアスタイルやメイクについて感性を広げる									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
文化論の教科書、筆記用具、ノート、授業で配布したプリント									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15)	【到達目標】 文化論が国家試験の必須科目であることを理解する。美容がどのように社会と関わっているかを考える。美容の定義、語義について学ぶ。 身近な美容ファッションについて調べ、文化論にふれる。				⑨ (6/17)	【到達目標】 近世Ⅱ【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。			
② (4/22)	【到達目標】 日本の理容業・美容業の歴史について、その発生・制度・動向を学び理解する。				⑩ (6/24)	【到達目標】 近世Ⅱ【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。			
③ (4/29)	【到達目標】 縄文・弥生・古墳時代、古代【飛鳥・奈良・平安時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び、理解する。				⑪ (7/1)	【到達目標】 現代Ⅰ【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する①			
④ (5/13)	【到達目標】 縄文・弥生・古墳時代、古代【飛鳥・奈良・平安時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び、理解する。				⑫ (7/8)	【到達目標】 現代Ⅰ【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する①			
⑤ (5/20)	【到達目標】 中世【平安末・鎌倉・室町・戦国時代】近世Ⅰ【戦国末・安土桃山時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑬ (7/15)	【到達目標】 現代Ⅰ【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する①			
⑥ (5/27)	【到達目標】 中世【平安末・鎌倉・室町・戦国時代】近世Ⅰ【戦国末・安土桃山時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑭ (8/19)	【到達目標】 前期内容の振り返りと、練習問題の解答、解説			
⑦ (6/3)	【到達目標】 中世【平安末・鎌倉・室町・戦国時代】近世Ⅰ【戦国末・安土桃山時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑮ (8/26)	【定期試験】60 日本のファッション文化について特徴を理解しているか。4択問題を中心に出题。			
⑧ (6/10)	【到達目標】 近世Ⅱ【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト40点/定期試験60点</li> <li>●評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)</li> <li>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> </ul> </li> <li>●評価方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul> </li> </ul>				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
遅刻・欠席・教科書等の忘れ物に注意し、授業に参加しましょう。									

## 講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	土井 恵美				
講師 プロフィール	大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。 札幌ベルエポック美容専門学校に異動後は全学科の教務を担当。 コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格も保有しています。								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
プロフェッショナルへの道の授業を通じて学年目標、クラス目標、個人目標を達成する。 社会で必要とされる基礎的なマナー、ルール、モラルを理解し、身構え、気構え、心構えを身に付ける。 課題を自ら発見し、主体的に取り組む姿勢を身に付ける。									
<b>【学習内容】</b>									
テキストを活用し、社会人基礎力、就職活動に向けての基本、知識を学ぶ。 目標や計画の立案から実施、振り返りのサイクルを繰り返し、自分で考えて行動するマインドを学ぶ。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
・学生便覧・学年歴・時間割・筆記用具 ①”社会人基礎力”の冊子(授業で配布します) ②”就職活動の冊子(授業で配布します)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】 シラバス、年間スケジュール確認 クラス、個人の目標設定 担任技術アドバイス&トークルームについて 就活の教科書配布 ～社会人と学生のちがいについて～				⑨ (6/19)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業①			
② (4/24)	【到達目標】 GW明け個人面談について 2年後の自分へ 就活の教科書 ～業界について知ろう～				⑩ (6/26)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業② 席替え② ベルリンピック打ち合わせ			
③ (5/1)	【到達目標】 GW課題告知 地域清掃 ～地域の信頼について～ 新社会人の基礎力の教科書より① TAT紹介 5月振り返り				⑪ (7/3)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業③ 6月振り返り ベルリンピック打ち合わせ最終確認			
④ (5/15)	【到達目標】 新社会人基礎力の教科書より② コミュニケーションスキルアップ検定 願書記入				⑫ (7/10)	【到達目標】 SNS特別授業単位に振替			
⑤ (5/22)	【到達目標】 席替え① 新社会人基礎力の教科書より③				⑬ (7/17)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定 試験日 夏休み課題告知 夏休みの過ごし方について 7月&ベルリンピック振り返り			
⑥ (5/29)	【到達目標】 SNSでの自己ブランディングについて ～就活用アカウントの作成～ (GOALD特別授業)				⑭ (8/21)	【到達目標】 夏休み明け課題確認 初の定期試験に向けて再度細かいルールの確認 東京研修 事前教育について			
⑦ (6/5)	【到達目標】 東京研修について Hand of LIFE STYLEの教科書より プロの職業人を目指すにあたって 5月振り返り				⑮ (8/28)	【定期試験】60 定期試験 新社会人基礎力より出題 入学して半年経過して振り返りの提出(8月振り返り) 今後のスケジュール確認(belle選択確認) 2S①に向けて席替え			
⑧ (6/12)	【到達目標】 新社会人基礎力④				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
配布した冊子関係①②は告知がなくても毎回持参すること ⇒プロ道ファイルを作る									

## 講義シラバス

科目名	美容実習 I (ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	北俣 京子、中山 里美				
講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務 数年前よりベルエポック美容学校講師として勤務								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
国家試験合格に必要な知識・技術・姿勢を身につけることができる。 ワインディングの全体の構成を理解し、実践することができる。 用具の扱い方、基本の巻き方を理解し、実践することができ、授業への取り組み方、基礎的技術を学ぶ。									
<b>【学習内容】</b>									
準備片付けを効率よく進め上巻き下巻き姿勢の技術習得									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
ワインディング用具一式、ノート、筆記用具、タオル									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/14)	【到達目標】 用具の取り扱い、セッティングの仕方を身につける 二重ゴムができる、コームの持ち方、回転の仕方を覚える				⑨ (6/16)	【到達目標】 フロントのブロッキングスライス、 姿勢、ステムを理解し巻ける			
② (4/21)	【到達目標】 ウィックの取り扱い コームの持ち方、回転の仕方 センターブロッキングが取れるようになる				⑩ (6/23)	【到達目標】 右BSのスライス、姿勢、ステムを理解し スムーズに巻ける			
③ (4/28)	【到達目標】 スライス、シェーブ、ゴムの掛け方上巻きを身につける				⑪ (6/30)	【到達目標】 右BS、サイド、スライス、シェーブを意識し バランス良く収められる			
④ (5/12)	【到達目標】 正しい目線、姿勢、上巻きがスムーズにできる 12ブロッキングができる				⑫ (7/7)	【到達目標】 姿勢、スライス、ステム、シェーブを意識し バランス良く収められる			
⑤ (5/19)	【到達目標】 スライス、ステムの理解 正しい姿勢、下巻きができる 12ブロッキング 8分				⑬ (7/14)	【到達目標】 センターのロッドを真っすぐ収め 右BSをバランス良く収められる			
⑥ (5/26)	【到達目標】 下巻きがスムーズに巻ける 上巻き 1本30秒				⑭ (8/18)	【到達目標】 ブロッキング 7分 センター 8分 時間内完成し手直しまでできる			
⑦ (6/2)	【到達目標】 ブロッキング 8分 上巻き、下巻きがスムーズに巻ける				⑮ (8/25)	【定期試験】50 バランス良く収め時間内完成 ブロッキング 7分 センター 8分 バランスよくおさめ時間内完成			
⑧ (6/9)	【到達目標】 ブロッキング 7分 上巻き1本35秒で巻けるようになる				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									

## 講義シラバス

科目名	美容実習 I (カット&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名	岩淵太秀、林京平、長瀬秀平			
講師 プロフィール	林-ベルエポック3期生。ONTHEディレクター。サロンワークの他に講師、ヘアショー、コンテスト撮影など様々な活動をしている。 長瀬-PEEK-A-BOOに入社。 6年間で数々の有名人を担当、ヘアショーや海外セミナーにも参加。2021年に札幌に戻りSnip入社								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
カット技術の基礎を身につけ、最新のヘアスタイルをカット&スタイリング技術を作れるようになる。 正しい道具の使い方を学び、ベーシックなカットスタイルを正確に切れるようになる。 毛髪の構造や特性を理解する。授業を通して美容師としての職業観を確立する。									
<b>【学習内容】</b>									
基本的な道具の使い方を理解する 基本的なカット技法(ワンレングス、レイヤー)を理解する どんな美容師になりたいかを考える									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
カット道具一式、ブロー道具一式、スタイリング道具一式 ウィッグip200(前期・後期合わせて10台)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/13)	【到達目標】 ウィッグ①授業の目的と使用道具について理解する カットに必要な頭部の名称や道具の名称、使い方について理解する				⑨ (6/15)	【到達目標】 ウィッグ③レイヤーカットを理解し工程を覚えカットする			
② (4/20)	【到達目標】 ウィッグ①シザーの開閉、ブロッキングの仕方を覚える ワンレングスカットの構造を理解する				⑩ (6/22)	【到達目標】 ウィッグ③レイヤーカットを仕上げる			
③ (4/27)	【到達目標】 ウィッグ①ワンレングスカットを仕上げる				⑪ (6/29)	【到達目標】 ウィッグ③レイヤーカットを仕上げ、ブローの仕方を覚える			
④ (5/11)	【到達目標】 ウィッグ①ワンレングスカットのブロー技法を理解する さらに短いワンレングスカットを 仕上げる				⑫ (7/6)	【到達目標】 ウィッグ③レイヤーカットを仕上げクオリティを上げる 時間を意識する			
⑤ (5/18)	【到達目標】 ウィッグ①ワンレングスカット、ブローのクオリティを上げる。時間を意識する				⑬ (7/13)	【到達目標】 ベルリンピックへ振替 ※授業なし			
⑥ (5/25)	【到達目標】 ウィッグ①授業内にワンレングスカット、ブローを2回仕上げる				⑭ (8/17)	【到達目標】 ウィッグ③④レイヤーカットの時間を意識して2回カット、ブローを仕上げる			
⑦ (6/1)	【到達目標】 ウィッグ②ワンレングスカットテスト				⑮ (8/24)	【定期試験】60 ウィッグ④レイヤーカットテスト			
⑧ (6/8)	【到達目標】 ウィッグ③レイヤーカットを理解する				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b> 忘れ物をしない 道具を大切に(自己管理) ウィッグを間違えない(ナンバリングと名前を記入)					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

## 講義シラバス

科目名	美容実習 I (カラーリングデザイン)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	土井 恵美 生井 音々、宮崎 美乃里				
講師 プロフィール	2024年5月から新しくオープンした美容師の為の美容室。カラーと髪質改善に特化をし、新しいトレンドを発信し続けるサロン。 STANCE MEN'Sも2025年3月にオープン。								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
カラーリングの基本を学び、デザインに合ったヘアカラーリングができるようになる。 色の選定と複合技術を学び、修得する。 施術手順を習得し、塗布方法、時間管理、後処理などの一連の手順を正確に実行できる。 施術時の安全規則や衛生管理を理解し、事故やアレルギー反応を防ぐための基本知識を身につける。									
<b>【学習内容】</b>									
カラーの基礎知識から応用まで座学、筆記で学ぶ。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
カラー用具一式、タオル、シート、筆記用具、ノート ウィッグip150(前期・後期合わせて10台)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16)	【到達目標】 自己紹介、シラバスの説明				⑨ (6/18)	【到達目標】 相モデルでリタッチ塗布①			
② (4/23)	【到達目標】 カラーの基礎知識				⑩ (6/25)	【到達目標】 相モデルでリタッチ塗布②			
③ (4/30)	【到達目標】 ウィッグでワンタッチ塗布①				⑪ (7/2)	【到達目標】 トーンアップ、トーンダウン、薬剤の説明			
④ (5/14)	【到達目標】 ウィッグでワンタッチ塗布②				⑫ (7/9)	【到達目標】 ブリーチなしダブルカラー①			
⑤ (5/21)	【到達目標】 相モデルワンタッチ塗布①				⑬ (7/16)	【到達目標】 ブリーチなしダブルカラー②			
⑥ (5/28)	【到達目標】 相モデルワンタッチ塗布②				⑭ (8/20)	【到達目標】 定期試験前の復習			
⑦ (6/4)	【到達目標】 ウィッグでリタッチ塗布①				⑮ (8/27)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (6/11)	【到達目標】 ウィッグでリタッチ塗布②				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									

## 講義シラバス

科目名	美容実習 I (ヘアアレンジ & メイク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	大澤 慶太、蓮川 まゆ、神 敦子				
講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活躍の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
基本的なヘアアレンジ技術を身につける。 手順に従って安定した仕上がりができるようになる。 髪型や顔型、髪質、ライフスタイルから最適なヘアアレンジを提案する能力を身につける。									
<b>【学習内容】</b>									
ヘアアレンジの基礎と応用、ヘアに合わせたポイントメイク									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
ヘア道具一式・メイク道具一式・筆記用具・ノートなど									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/13)	【到達目標】2 オリエンテーション、アイロンの使い方				⑨ (6/15)	【到達目標】3 髪の長さに合わせたヘアアレンジ① 相モデル			
② (4/20)	【到達目標】2 スパイラル巻き(内巻き)、黒ゴム、ポニーテール				⑩ (6/22)	【到達目標】3 髪の長さに合わせたヘアアレンジ② 相モデル			
③ (4/27)	【到達目標】2 スパイラル巻き(外巻き)、ピン打ち				⑪ (6/29)	【到達目標】4 【キュート】をテーマにヘアアレンジとポイントメイク 相モデル			
④ (5/11)	【到達目標】2 スパイラル巻き(ミックス)、編み込み				⑫ (7/6)	【到達目標】4 【クール】をテーマにヘアアレンジとポイントメイク 相モデル			
⑤ (5/18)	【到達目標】3 ウェーブ巻き(カールアイロン、ストレート)、ハーフアップ				⑬ (7/13)	【到達目標】 ベルリンピックへ振替 ※授業なし			
⑥ (5/25)	【到達目標】3 編みおろし、リボン、お花				⑭ (8/17)	【到達目標】4 モデルの雰囲気合わせたヘアアレンジ➕ポイントメイク 相モデル			
⑦ (6/1)	【到達目標】3 アップスタイル				⑮ (8/24)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (6/8)	【到達目標】5 中間チェック				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									

## 講義シラバス

科目名	美容実習 I (ヘアケア)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名	土井 恵美、 佐野 正臣、小山 蒼平			
講師 プロフィール	lili 千歳市、恵庭市を中心に展開するトータルビューティーサロン。ヘア、アイラッシュなどを通じて「人を幸せにする美容」を提供しているサロンです。 pole 大通り、北区にユニセックスサロン、メンズサロンを展開するサロン。								
【授業を通じての到達目標】									
ヘアケア商品について理解を深め、商品知識を身につける。 ヘアケアの基礎知識、技術の手順を理解できるようになる。									
【学習内容】									
lili ヘアケアの基礎知識からカウンセリング、トリートメント実習、提案力までを学び、お客様のお悩みに寄り添い解決できる美容師としての価値と考え方を実践しながら学ぶ。									
pole									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具・シャンプー・道具・ドライヤー・アイロン・タオル									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17) lili	【到達目標】 自己紹介、ヘアケア基礎知識について学び、カウンセリングに活かせるようになる				⑨ (6/19) pole	【到達目標】 トリートメント実習			
② (4/24) lili	【到達目標】 悩みを引き出すカウンセリング、お客様に合わせたカウンセリングを相モデルで出来るようになる				⑩ (6/26) pole	【到達目標】 トリートメント実習(メンズカットパーマ)			
③ (5/1) lili	【到達目標】 トリートメント実習でトリートメントの工程を学び、お客様に合わせたトリートメント施術が出来るようになる				⑪ (7/3)	【到達目標】 VIBES×Belle 特別授業① ヘアデザインで北海道の美容業界を盛り上げる、北海道の美容の価値を高めることを目的とした札幌のTOP美容師集団による特別授業			
④ (5/15) lili	【到達目標】 トリートメント実習でトリートメントの工程を学び、お客様に合わせたトリートメント施術が出来るようになる				⑫ (7/10)	【到達目標】 fifth SNS特別授業 ・自己ブランディング力の強化 ・オンラインサロンコンテンツを使用した美容知識の強化			
⑤ (5/22) lili	【到達目標】 ホームケアの重要性を学び、お客様に合わせた提案が出来るようになる				⑬ (7/17)	【到達目標】 VIBES×Belle 特別授業② ヘアデザインで北海道の美容業界を盛り上げる、北海道の美容の価値を高めることを目的とした札幌のTOP美容師集団による特別授業			
⑥ (5/29) pole	【到達目標】 自己紹介、トリートメント基礎知識				⑭ (8/21)	【到達目標】 VIBES×Belle 特別授業③ ヘアデザインで北海道の美容業界を盛り上げる、北海道の美容の価値を高めることを目的とした札幌のTOP美容師集団による特別授業			
⑦ (6/5) pole	【到達目標】 トリートメント実習				⑮ (8/28)	【定期試験】60 ヘアケア授業やSNS特別授業、VIBES特別授業を受講した上で学んだことをSNSで発信することで、自己ブランディング力を上げる。 自らのアカウントで編集、投稿をすることで定期試験の評価とする(ルーブリック評価表を確認)			
⑧ (6/12) pole	【到達目標】 トリートメント実習				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
lili 実習はお客様に施術する意識で取り組む。									
pole									

## 講義シラバス

科目名	美容総合 I (シャンプー & サロンワーク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	園田 翔太郎 吉田 圭祐、藤田 虎太郎				
講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積む。 美容師としての経験を活かし、ベルエポックで学生教育に携わる。それぞれの経験を生かし即戦力となる 技術スキル・人間力を授業を通して伝えていきます。								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
授業を通して、サロン内での基本的な業務の流れを理解し順序立てて行うことができる。 衛生面や挨拶、時間管理、マナーを学び、プロフェッショナルな態度で接する力を身につけることができる。 シャンプーからスタイリングまでの技術をサロンワーク内で実践できるようになる。									
<b>【学習内容】</b>									
シャンプー、トリートメント、ヘッドマッサージ、ドライ、ブロー、スタイリングの基礎技術を学ぶ。 サロンワークに必要な知識、接客、コミュニケーション力を実践しながら学ぶ。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
シャンプー道具一式・カラー道具一式・パーマ道具一式 デンマンブラシ・ドライヤー・アイロン・コテ・タオル・筆記用具 スタイリング剤									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/14)	【到達目標】 シラバス、授業のルール、サロンワーク実習室の使い方を理解する。 美容師力について考える。 シャンプークロスのつけ方、シャンプーの基礎手順(動き)について理解する。				⑨ (6/16)	【到達目標】 モデルに合わせたスタイリングを実践することができる。 (レディース、メンズ)(ノーセットからスタート)(相モデルで実践) スタイリング→シャンプー			
② (4/21)	【到達目標】 シャンプーの基礎手順(動き)について理解する。 ウェット～泡立て～流しまでの動作を理解し実践することができる。(相モデルで実践) サロン内での挨拶、お声がけを実践してできるようになる。				⑩ (6/23)	【到達目標】 サロンワークを意識したご案内ができるようになる。 ご案内～シャンプー、ドライ、スタイリングの一連の流れを実践できるようになる。 実践を通して多くのコミュニケーションをとることができる。 (相モデルで実践)			
③ (4/28)	【到達目標】 ドライの動作・手順について理解する。 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデルで実践) タオルターバンができるようになる。				⑪ (6/30)	【到達目標】 ブローの技術について理解する。 シャンプー～ドライまで実践。ブロー基礎を実践してできるようになる。 (相モデルで実践)			
④ (5/12)	【到達目標】 心地の良いご案内について考える。 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデルで実践) 時間がたっても消えない泡立てができるようになる。				⑫ (7/7)	【到達目標】 シャンプー、ブロー、スタイリングの流れをスピードを上げて実践することができる。 (相モデルで実践) 苦手な技術を克服する。			
⑤ (5/19)	【到達目標】 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデルで実践) ドライを効率良く実践してできるようになる。				⑬ (7/14)	【到達目標】 髪質改善トリートメントを実践し、流れ・技術を理解する。(相モデルで実践) アイロンワークの技術を身につける。			
⑥ (5/26)	【到達目標】 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデルで実践) ヘッドマッサージについて理解し実践してできるようになる。				⑭ (8/18)	【到達目標】 定期試験に向けたトレーニング 時間内でシャンプーからスタイリングまでを終えることができるようになる。 サロンでの立ち振る舞いを意識した動きができるようになる。			
⑦ (6/2)	【到達目標】 6/2 PM(全クラス) ナブラドリームプラス見学参加 外部のイベントに参加し、感性を磨く。美容師のセンスを見て学ぶ。				⑮ (8/25)	【定期試験】60 ご案内～スタイリングまでの流れを実践。 シャンプー技術: 20分 ドライ～スタイリング技術: 40分 サロンワークを意識した服装であること。			
⑧ (6/9)	【到達目標】 スタイリングの基礎技術を理解する。(レディース、メンズ) (ノーセットからスタート)(相モデルで実践) スタイリング→シャンプー				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
忘れ物、授業態度がよろしくない場合は小テストから減点します。 サロンワークを意識したファッションであること。									

## 講義シラバス

科目名	美容総合 I (メンズスタイル)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名	干場 翔馬 渡部 智音、堀内 新史			
講師 プロフィール	ASTRA メンズサロンGOALDと”共創”をするパートナーサロン。北海道1お客様に寄りそうメンズサロン。 fifth 日本パーマを巻いているメンズサロン。ホットペッパービューティーアワード2026ベストサロン。								
【授業を通じての到達目標】									
メンズスタイルを学び、基礎的なスタイルを作れるようになる。 メンズヘアのトレンドや定番スタイルを理解する。									
【学習内容】									
ASTRA トレンドメンズスタイルの基礎、トレンドスタイリングの基礎を学ぶ									
fifth 美容師になっても使えるパーマの基礎知識。メンズカット、パーマの技術を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
スタイリング用具一式、カット用具一式、タオル2～3枚、ワックス・道具一式 (fifth授業) ウィッグip150【前半(ASTRA)3台、後半(fifth)3台】									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/16) ASTRA	【到達目標】 ウィッグ①(ツブロックをいれる) 自己紹介 ハサミの開閉練習、ウィッグの準備				⑨ (6/18) fifth	【到達目標】 ウィッグ① レイヤーカット、セニング、質感調整をする			
② (4/23) ASTRA	【到達目標】 ウィッグ① アウトラインをいれる ベースカットでスタイルを切る ベースカット完成後、セニングをいれる				⑩ (6/25) fifth	【到達目標】 ウィッグ① パーマに挑戦(シャドウパーマの実践)			
③ (4/30) ASTRA	【到達目標】 ウィッグ① スタイリング理論 カットしたウィッグをスタイリング				⑪ (7/2) fifth	【到達目標】 ウィッグ② センターパート展示、フレームカット			
④ (5/14) ASTRA	【到達目標】 ウィッグ② ウィッグの準備 スタイルを選ぶ ベースカット				⑫ (7/9) fifth	【到達目標】 ウィッグ② レイヤーカット、セニング質感調整			
⑤ (5/21) ASTRA	【到達目標】 ウィッグ② セニング、スタイリング				⑬ (7/16) fifth	【到達目標】 ウィッグ② センターパートのパーマの実施(ニュアンスパーマorフェザーパーマ)			
⑥ (5/28) ASTRA	【到達目標】 メンズスタイル 小テストのスタイルを選ぶ ウィッグの準備、スタイリング練習 ウィッグ③⇒次回テストできる長さを残しておくこと				⑭ (8/20) fifth	【到達目標】 ウィッグ③ 定期試験のウィッグのカット仕込み			
⑦ (6/4) ASTRA	【到達目標】 カットメンズスタイル 小テスト実施 ウィッグ③ 選んだスタイルをカット&スタイリング フィードバック				⑮ (8/27) fifth	【定期試験】60 ウィッグ③ パーマ定期試験、仕上がりを評価			
⑧ (6/11) fifth	【到達目標】 ウィッグ① 自己紹介 基礎知識、展示、刈り上げ、フレームカット				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
ASTRA									
fifth 忘れ物をしないこと									